

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認年月   平成 年 月	
レジメン名	S-1+CDDP(高用量)(胃がん)(アプレビタントカプセル)			
疾患名	胃がん	適応の備考		
適応分類	進行再発			
1コース日数	35 日間	総コース数	コース	催吐性リスク   高度
抗がん剤投与量・投与日   シスプラチン60mg/m <sup>2</sup> day8、S-1 80mg~120mg/body 分2 day1-day21				
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)				

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	~	35			
1	主ルート																																				
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間								●																									
2	側管 点滴静注	アロキン注バッグ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分								●																									
		テキサト注射液6.6mg/2ml	1 本 / body										●																								
		テキサト注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body										●																								
3	側管 点滴静注	生食500mL	1 本 / body	2 時間								●																									
		シスプラチン	60 mg / m <sup>2</sup>										●																								
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																					
4	主ルート																																				
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間								●	●	●																							
5	経口投与	S-1	9999 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		分2 朝夕食後																																			
		(体表面積) 1.25m <sup>2</sup> 未満 80mg/day																																			
		1.25~1.5m <sup>2</sup> 未満 100mg/day																																			
		1.5m <sup>2</sup> 以上 120mg/day																																			
6	経口投与	アプレビタントカプセル	125 mg / body									●																									
		抗がん剤の投与1時間前に服用																																			
7	経口投与	アプレビタントカプセル	80 mg / body										●	●																							
		分1 朝食後																																			
8	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body										●	●	●	●																					
		分2 朝昼食後																																			

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- シスプラチン:希釈は生食のみ。
- シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- 【day8】シスプラチン投与の前後にそれぞれ補液500mL2本/120分を投与、適宜フロセミド注を投与
- 【day9,10】補液500mL2本/120分/dayを投与
- S-1は、day1~day21まで服用、day22~day35 休薬期間
- ・day9~12のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。
- ・day12のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。
- アプレビタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
- アプレビタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。
- アプレビタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。